美祢市立美東小学校 学校だより 令和7年10月第2号(10月 24日発行) 文責 : 校長 歌田



美東小だより



【学校教育目標】

「ふるさと美東を愛し 夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」

美東小初の『全校遠足』 思い出の | ページを綴る

10月後半に入り、朝晩が肌寒くなり、紅葉も色付きはじめ、めっきりと秋の深まりを感じます。そんな中、10月17日(金)は今シーズン最後の真夏日に迫ろうかという気温と透き通った秋空のもと、「全校遠足」を開催しました。

この「全校遠足」の企画の発端は、5月上旬に6年 生と地域の方・教職員で話し合い(熟議)の時でした。 熟議のテーマは「美東小が開校したことで『やってみたいこと』は何か」で、ある児童が「美東町内を全校で歩いてみたい」という意見を出しました。



美東小開校にあたり、ふるさとは「美東全域」です。この児童の意見や思いを形にするため に準備が始まりました。

さぁどんな「全校遠足」だったのでしょうか?裏面にその様子を載せています。

歴史と伝統を引き継ぐ児童たち

私たちの「ふるさと」にはさまざまな歴史と文化があります。学校教育では「大田・絵堂の戦い」など平和学習、秋吉台などの自然の魅力に関わるジオ学習、「食」に関わる学習などを実施しています。地域では、歴史と伝統を引き継ぐ行事が行われています。10月半ばには、本校児童たちが綾木八幡宮祭で太鼓奉納「きずな太鼓」、真長田八幡宮秋季例大祭で「天磐戸神楽舞」を行いました。

柔道の創始者である 嘉納 治五郎 氏は「伝統について」次のように語っています。

伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを言う。

心を一つに「きずな太鼓」

自分にとっては最後の披露する場でしたが、綾木のメンバーで、心一つにやりきることができたのでとてもよかったです。

地域の方からもほめていただき、うれしかったです。 江戸時代から伝わった 伝統的な「きずな太鼓」なので、これからも引き継いでいってほしいと思います。



6年 小田村 遥

伝統の重みを感じ、挑戦してみたい

母に勧められて、神楽舞に挑戦しました。 本番では、少し緊張し、道具も練習の時の ものより重かったです。練習時間が短くて、 うまくできないところもありましたが、何 とか最後までできてホッとしました。

もし中学生になっても 参加できるのであれば、 また神楽舞に挑戦してみ たいです。

6年 鶴井 倖



10月17日開催「全校遠足」をふりかえる



校歌を歌いながら歩く



沿道からの温かい応援



交通安全の見守り



綾木ふるさとセンター



下級生の世話をする上級生



お弁当タイム



10km完歩した「ゴール」



真長田定住センター

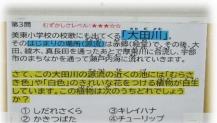


クイズの表彰式

~「全校遠足」をふりかえって~ にこにこ班 班長の感想より

- ・班のみんなで声をかけ合ったり、地域の方々に校歌を歌って元気を与えることができたりして楽し く遠足することができました。
- ・みんな楽しそうだったし、地域の人と一緒に歩くことができて良かったです。
- ・IOkmを歩くのは大変だったけど、班のみんなで協力して歩くことができたり、美東の自然のよさを 知れたりしたのでうれしかったです。
- ・班長として、みんなの様子を見ながら歩くことができました。疲れている人を助けながら歩くことが でき、協力してゴールをめざすことができました。
- ・けがもなく、みんなでIOkmを歩き切ることができてうれしかったです。下級生も班長の言うことを 聞けていたので良かったです。
- ・クイズを楽しみながら歩くことができました。クイズを作ってくださった方、ありがとうございます。





【お礼】

美東小学校としての初めての「全校遠足」の開催に おきまして、今年度は、綾木・真長田ルートIOkmを歩きま した。

児童と共に一緒に歩いてくださった方々、美東にまつ わるクイズラリーを企画・運営をしてくださったPTA運営 委員及び綾木・真長田公民館の方々、交通整備をしてく ださった方々、当日沿道で応援してくださった方々など、 たくさんの方々にお世話になりました。

地域・保護者の皆様方の支えがあり、児童たちにとっ て、思い出に残る、充実した遠足になりましたことを感謝 申し上げます。ほんとうにありがとうございました。